

# 6月7月 スケジュール

予定は変更になることがあります。

NEW

## あじさい (就B)

☆第1. 3木曜14:00閉所  
☆第2. 4. 5木曜12:00閉所

6月

4(水)語ろう会  
6(金)11:30閉所  
7(土)相良高校文化祭出店  
15(日)みどり会講演会販売  
16(月)14:00閉所  
20(金)こころ市前日準備  
21(土)こころ市  
25(水)こころ市振り返り  
26(木)あじさいミーティング

7月

2(水)ドリームまきのの道(さざんか)  
5(土)リカバリーへの道  
7(月)泰善寺販売  
9(水)語ろう会  
14(月)14:00閉所  
15(火)輝きミーティング  
22(火)あじさいミーティング

## きゃらふる (就B)

☆毎週水曜14:30閉所

6月

7(土)清流館高校文化祭  
6(金)11:30閉所  
16(月)きゃらふるミーティング

7月

5(土)リカバリーへの道  
14(月)きゃらふるミーティング

### ★市役所販売

毎週水曜11:45~12:30  
※帯 校 口エントランスにて

### ★カフェいきちご

火~木.....12:00~14:00  
金.....10:00~14:00  
土日祝.....11:30~15:00

遊びに来てね♪

島田市島 581-14 Tel 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

## はぐるま (地活)

☆毎週木曜15:00閉所

6月

4(水)11:00語ろう会  
6(金)12:00閉所  
9(月) 13:00 フットサルクラブ  
13(金)13:00卓球クラブ  
20(金)こころ市前日準備  
21(土)10:00~12:00 こころ市  
23(月)13:00 フットサルクラブ  
25(水)15:00閉所  
27(金)13:00卓球クラブ

7月

9(水)11:00語ろう会

## ここカラ (地活)

☆毎週水曜15:00閉所  
☆開所日:月~金、第三土曜

6月

3(火)こころバス  
6(金)12:00閉所  
10(火)14:30閉所  
16(月)振替休み  
21(土)こころバス/家族茶話会

7月

1(火)こころバス  
8(火)14:30閉所  
14(月)振替休み  
19(土)こころバス/家族茶話会  
23(水)看護実習  
24(木)看護実習/サテライト

島田市島 581-14 Tel 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

## らしく (就B)

☆毎週木曜15:00閉所

6月

4(水)うおとも食事会出席  
6(金)らしくミーティング  
/12:00閉所(PM法人研修)  
7(土)相良高校文化祭出店  
8(日)徳洲会カップ販売  
15(日)みどり会講演会販売  
16(月)14:15閉所  
21(土)こころ市参加

7月

4(金)らしくミーティング  
5(土)リカバリーへの道  
7(月)キャラバン隊  
15(火)14:15閉所

牧之原市菅ヶ谷 219-1 Tel 0548-52-7447 FAX 0548-28-6622

## いなむ (就B)

☆毎週水曜14:00閉所

6月

3(火)PM クリーン活動  
6(金)11:30閉所  
10(火)13:30閉所  
21(土)榛原事業所こころ市参加

7月

5(土)リカバリーへの道  
8(火)13:30閉所

島田市金谷中町 2100-1 Tel 0547-46-1687 FAX 0547-45-5165

【寄附のお願いについて】 こころは前身の特定非営利活動法人の時期からたくさんの方々にご支援いただきながら活動してきました。このたび、寄附専用の口座を新たに郵便局に開設しました。郵便局の払込取扱票を同封させていただきますので、引き続きご支援よろしくお願いたします。

なお、寄附は所得税の寄付控除、法人税の損金算入の対象となります。

振込先：郵便局 ○八九店 (089) 当座 0191452

※寄付控除について必要となる領収書を送付させていただくため、振込後に法人本部までご連絡ください。

相談室こころ島田・相談室こころ川根本町・このの(自立生活援助)・メデル(基幹相談支援センター)・法人本部：島田市島 581-14 TEL0547-46-5561/FAX0547-46-5566

相談室こころ牧之原・相談室こころ吉田：牧之原市細江 701-4 TEL0548-22-5529/FAX0548-23-9340

社会福祉法人こころ

Social Welfare Corporation  
KOKORO

vol.16

2025/6

# こころ

はっこうもと  
発行元  
しゃかいふくくしほうじん  
社会福祉法人こころ  
〒428-0007  
しずおかけんしまだしま  
静岡県島田市島581-14  
Tel 0547-46-5561  
FAX 0547-46-5566

## こころのこれから

事務長 白井公一



設立から20年、社会福祉法人化から3年目を迎え、令和7年度、こころは57名のスタッフで新年度のスタートを切りました。ドレミがこむぎと合併してきやらふるとして新たな一歩を踏み出し、それに伴いメンバーも利用先の事業所の場所が変わるなど、今年度もこころにとって新たな挑戦、柔軟な変化、着実な実践が求められる年になりそうです。

こころでは実践の積み重ねの中で、今までに色々なものが「そうぞう」されてきました。日々の実践をグループで発表する「実践研究発表会」、数多くのミーティングの結果がたちになっている榛原こころ市は次回21回目を迎え、外部企業との協働をかたちにしたらしく市：多くの「創造(そうぞう)」を積み重ねてきました。(積み重ねの過程では騒々しさも併せ持ちながら)

今後、私たちに求められるもの、同じ日本語の「そうぞう」の音の中に「創造(Creation)」と共に「想像(Imagination)」できるか：57名のスタッフが各々の心(こころ)の中に今後のすがたを抱いて実践できるかだと思います。日本語は不思議

なもので、頭の中に想い描く「想像」と、それをアウトプットして新たにかたちにする「創造」に同じ音を当てています。日本人の中では「想像から創造までが一連」であることが前提になっていたのかも知れません。

一方で、障害福祉の課題に目を向けると、障害への理解の薄さ、雇用の不安定さ、ニーズへのきめ細かな対応、地域のニーズに応じた事業所の整備、障害福祉サービスの地域格差の是正：私たちが取り巻く障害福祉の環境の変化の前に私たち57名の小さな実践や創造はそれらに対して聊か力不足に感じてしまっています。

しかし、昨今の課題の前で本当に私たちは力不足なのか？

「ブラジルの蝶の羽ばたきはテキサスでハリケーンを起こさうか？」1972年に気象学者のエドワード・ローレンツが気象観測の難しさを例える際に使用したとされる『バタフライエフェクト』、私が好きな言葉のひとつです。現代では「非常に小さな出来事が、最終的に予想もしていなかったような大きな出来事につながる」ことを意味する言葉として使用されています。

静かに熱い想いを持った57名のスタッフ(57匹の蝶)の日々の実践や創造という小さな羽ばたきの積み重ねが志太榛原園域を皮切りに、県を超え、全国の障害者支援における大きな風を起こすことができる信じています。一匹の蝶がハリケーンを起こせるのだとしたら：こころには57匹いるのですから。

# 第3回 実践研究発表会

を行いました！

今回のテーマ…  
『リカバリー』



私たちはR4年度から、支援の鍵となる『ストレングス』『エンパワメント』をテーマに学びを深めてきました。そして、いよいよ最終章『リカバリー』です。

このグループ学習での学びは、日ごろの実践を深めるだけでなく、自ら学んでいく“**主体性**”を育む3年間でもありました。

3年間を通して行ってきた第1弾のグループ学習は『リカバリー』で一区切りです。

しかし、ひとり一人の人生の旅路が続いていくように、私たちの“学び”の旅もまた続いていきます！第2弾に続く…

最優秀発表賞は  
らしくチーム！



## 【発表の要旨】

偏見や無理解は誰の心の中にもある！

それは、私たち支援者の中にも。偏見という思い込みを捨て、理解しようとするのをあきらめないこと。そして、その人（主人公）の語り（narrative）を全身で感じて信じ続けること！

## 【3年間を通しての学び】

ストレングス志向はエンパワメントの基盤であり、エンパワメントの過程はリカバリーそのものであるという繋がりを再認識した。（横文字&専門用語いっぱいでごめんなさい。気になる言葉はスタッフに聞いてみてください）  
経験も立場も違うスタッフが、調べ考え語り合いながら日々の実践を振り返る学びを続けてきたことで、多くの気づきを得ることができた。その積み重ねが包摂的社会に繋がることを再確認することができた。

## 【発表の要旨】

これまでの学びを土台に、個人の語りと榛原事業所の取り組みに焦点を当て、リカバリーに重要な要素を導き出し、リカバリーを5つのフォーエバー（ストレングス・ビュアセルフ・ピアサポート・循環・エンジョイライフ）にまとめました。

## 【3年間を通しての学び】

私たち一人ひとは、自分自身が思っている以上に力と可能性を持っています。それは地域・社会を変えることができるほどの大きな力です。その可能性を信じ、まずは動き出すこと！そして、一人では難しいことも仲間が存在があればその力は何倍にも膨らみます。今後私たちは学びを活かし、一人ひとりを認め合い、何事も面白く、困難さえも楽しみながら、地域をもっと面白くしていきます！

そのために！これからも語り続けます！

## 【発表の要旨】

私たちは、「働くこと」に着目して考えました。

本人の“働きたい”想いや仲間とのかかわり、スタッフの迷いもある中で、一緒に歩んだ時間を通して感じた学びをまとめました。  
“可能性は、誰にだって無限大！”

## 【3年間を通しての学び】

3年間の研究を通し、“ストレングス志向”では、弱みを直すのではなく強みに目を向け、未来の可能性と一緒に考えていくこと。“エンパワメント”では、対等な関係を築き変化に着目し、その過程に寄り添うこと。“リカバリー”では、希望を持ってその人らしい人生を歩む道のりを応援し、可能性を信じ続けながら、ともに歩む姿勢が大切だと学びました。これらの視点を大切に、一人ひとりに寄り添うかかわりをチームで実践していきたいです。

サンネンカン、タノシクマナベマシタ。マナビハ、ツツク…

## 【発表の要旨】

「リカバリー」を「その人らしく社会の中で生きていくための道のり」と捉え、①実践の場として「HAPPY りなむ春の市」の開催に向けた取り組み、②「りなむがりなむらしくあり続けるために」について考え、発表しました。

## 【3年間を通しての学び】

研究発表のテーマを作業場面など日頃の実践につなげることで、何よりもメンバーが持っている力を感じることができました。また、私たちの支援やりなむという場は、「将来のために、できないことができるように」ではなく、上がったリ下がったり、えっちらおっちら自分なりの道を歩んでいるメンバーの軌跡の一端に触れる場であること、メンバー・りなむ・地域が「続いていく力」を感じ取り、「共にあること」が大切だと学びました。

## 【発表の要旨】

ストレングス（可能性）と自分らしい働き方と役割。人としての姿勢が仲間と影響しあうことで、新しい自分や本来の自分と出会い、唯一無二の軌跡を歩んでいきます。ドレミもきやらふとなり、新たな出発を。これが、ドレミのリカバリーです。

## 【3年間を通しての学び】

「エンパワメント?リカバリー??」「どう実践と結び付けられるの?」からスタート。勉強した過程が大切だったとゴール。その過程は、メンバー・スタッフ区別なく仲間として、一人ひとりの“やってみたい”をそれぞれがチカラを出し合って“実現したい”、“実現できる”と全員が思うようになった時間でした。ドレミとこむぎが一緒になり、“きやらふる”へ。これからも、ひとり一人の“やってみたい”を実現していきます！

## 【発表の要旨】

リカバリーは誰にでも起こりえることとして、『私たちのリカバリー』について考えた。リカバリーとは“誰もが尊重されるべき存在として敬意を払いながら、社会の中でかけがえのない命を生き、自分の人生を歩むこと”と学んだ。

## 【3年間を通しての学び】

ストレングスは強みや可能性、希望と理解したもの、実践と結びつかず、悩んだ1年でした。

エンパワメントとは、自らの力をコントロールするパワーを取り戻すプロセスであることを学んだ。3年間グループで挑戦と失敗を繰り返す中でそれぞれの強みが見えエンパワメントがさらに加速していきました。

そして、自分らしく暮らすことができればリカバリーがまた循環すると考え、誰もがその循環を体感することができると信じ、実践していきたいです。